

告知

第五回

三、「一」を忘れない「祈りの集い」
平成二八年三月一日（金）
午後一時開会
第一部
東日本大震災物故者追善供養
第二部
三、「一」を忘れない「朗読会」
朗読はアナウンサー柴山光由氏
第三部
黙祷 午後二時四六分
閉会（参加費無料）



禅の小窓7

當山三十四世
再重興智貫孝善大和尚
三回忌法要



平成二八年二月二十二日
午前十時
法要に先立ち納骨式を執り行います。
ご参列ご焼香賜われれば大変有難く
存じます。



永松だより

松源寺通信
第7号

松源寺開創 500年
平成33年・2021年
みなさまのお知恵とお力を合わせていただき
この佳きめぐりあわせを寿ぎましょう

大蔵山松源寺第三十五世
東海 泰典

新年明けましておめでとう
ございます。
本年も何卒宜しくお願い
致します。

修正会

新しい年の始まりにあたり最
初に営まれる法要です。かつて
は、正月修法を略して「修正会」と
いいましたが、現在の曹洞宗
ではこの名称は用いていません。
元旦から三日まで行われたこと
から「三朝祈禱会」ともいいま

す。元旦を期して、一年間の世
界平和や檀信徒の健康、仏法の
興隆を祈ります。多くの寺院で
は『大般若経』による祈禱法要
として行われていました。
もともとは、「悔過」という
儀式をつとめ、前年の過ちを悔
い、修正する法要で奈良時代に
始まりました。
現在でも、良き一年を迎えんが
ため、行われる大切な法要です
し、合わせてお配りしているお
札のご供養を執り行っておりま
す。
本年は申年です。巷では赤い
パンツを履くと縁起がいいと言
われております。「病が去る（サ
ル）」赤は病気を防ぐ厄除けの意
味があるそうです。昨年にま・サ
ルいい年でありますように。

文芸の風

読者の皆様からの投稿作品を紹介します

短歌

佐々原洋子（泉区向陽台）

- 一、三陸の津波の語り部たんたと
言葉継ぎおり 四年となれば
二、病床の夫の体を拭くごとく
ゆるく静かに墓を洗えり
三、今年こそ今年こそはと誓えども
無精なわたしもう一人住み



『3.11からのことづて』
渡辺祥子 著（TOブックス）
定価：本体1,000円＋税
本をよむ [第4回]

渡辺祥子（わたなべ・しょうこ）
宮城県仙台市在住。1991年フリーアナウンサーとして独立。ラジオパーソナリティや司会を務める傍ら、98年より朗読や語りを音楽と融合させた舞台公演をスタートさせる。自らを「言の葉アーティスト」と称し、「言葉」を通じて、多くの人に「心の安らぎ」や「人の絆」をもたらしたいとの願いのもと活動に取り組む。東日本大震災以降は、被災地で懸命に生きる人々の姿を講演や執筆で積極的に発言、被災地と支援者を結ぶ活動を行う。日本ロゴセラピスト協会認定ロゴセラピストでもある。

近所の人と食べ物やカセツトコンロのボンベなどを分け合ったこと、月命日に犠牲になった全町民の名前を読み上げる宮城県亘理町のラジオ局、「10億円かけてダイエットしたぞ」と被災体験をユーモアに包んで語る南三陸町の鮮魚店主……。言の葉アーティスト・渡辺祥子が体験した、東日本大震災後の生活や、被災地で奮闘する人々の姿をつづったエッセー集。「未来を生きる皆さんにとつての教科書になってほしい」という思いが詰った1冊。

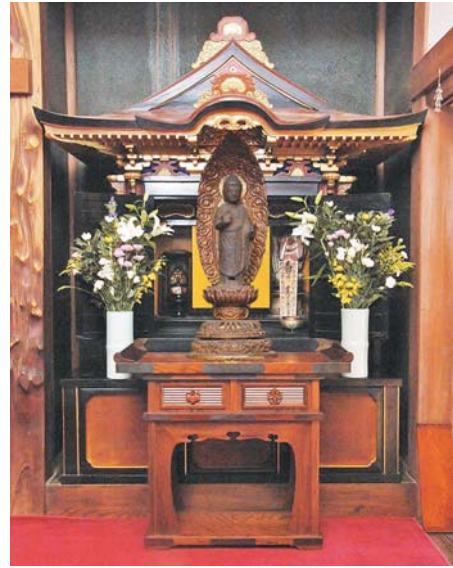
本書の印税は、震災の教訓を後世に伝える様々な取り組みの活動資金として使わせていただきます。

今年の行事予定

- 1日～3日 三朝祈禱会（修正会）
1月26日 高祖降誕会
2月15日 釈尊涅槃会
2月22日 先住大祥参回忌
3月11日 東日本大震災慰霊法要（朗読会）
3月17日～23日 春彼岸
4月8日 釈尊降誕会
4月 婦人会総会
5月 永松会総会
（未定）松源寺研修旅行
7月10日 青葉土樋町内会防災訓練
7月 第一教区護持会研修会
8月13日～15日 孟蘭盆会
8月14日 大施食会（13・30）
9月19日～25日 秋彼岸
9月25日 第一教区萬灯会法要（明川寺）
9月29日 両祖忌
10月5日 達磨忌
（未定）観音堂御開帳供養・婦人会研修会併催「秋の夕べコンサート」（yae）
（未定）第一教区護持会研修旅行
11月4日 祠堂法要（10・30）
11月21日 太祖降誕会
12月8日 釈尊成道会
（未定）永松会・婦人会役員会

観音堂御開帳供養

平成二十七年十月十七日（土）午後二時より観音堂御開帳供養が開催された。一七二二年十月二二日に奉納されたと記録のある持仏の観音様の御開帳を、年に一度執り行っている。



お堂の中で暗く小さな観音像に手を合わせ「和尚さん良く見えないね」と言われた事もあり、今回は最新の撮影・印刷技術を駆使して立体カードを制作し、記念にお配りした。常に携行しお守りとしてお使いいただくもよし、お仏壇に祀り毎朝お手を合わせて頂くもよし。



当時流通の王道であった北前船の往来の際に持仏のお守りとして、民衆が使っていた観音様。大風の為転覆した持ち主が辛うじて一命を取り留めたが、身代わりなのか観音様を海中に落としてしまった。数年後大本山總持寺祖院のある能登半島の先端の海で光るものがあつた。海中を探し大切に安置していた観音様が、色々な縁が繋がりに持ち主の手元に戻ってきた。しかし命を助けて頂いた徳の高い観音様は広く民衆にお参り頂きたいという願いから寺に安置された。

仏具紹介

『殿鐘』

でんしょう

法要などの始まりを告げる合図の為に鳴らす鐘。お寺は七堂伽藍と呼ばれ広い敷地の中でそれぞれに修行僧が点在しております。朝のお勤めや法堂や僧堂に山内の大衆を集める為に打ち鳴らす鐘のこと。

松源寺の法要でも耳にすることがあると思いますが、

でんしょうさんえ
殿鐘三会

打出しは中音・中音・小音・大音

一会目 徐々に早く打ち大音で打切り

二会目 徐々に早く打ち小音・大音で打切り

三会目 徐々に早く打ち中音・小音・大音で打切り

しちげしやうどうしやうでん
七下鐘導師上殿

方丈の間から本堂内まで手馨という鐘を持った和尚様の先導で本堂内に入る。

この時手馨のチンと殿鐘のジャンが交互に打ち七声目で本堂内に到着する。

この殿鐘を打つお役は若手の和尚さんが担当する事が多い。



峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌無事に円成す

平成二十五年に檀信徒の皆様にごの大遠忌の特別寄付をお願いし、大本山總持寺へお渡ししていただきました。今年の十月七日から二〇日に亘つての本法要も無事に終わりました。ご本山から記念品を頂戴いたしましたので、本堂に掲げまし



平成二十七年秋の叙勲



謹啓
向寒の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて 私こと

平成二十七年秋の叙勲で、はからずも瑞寶双光章拝受の榮に浴しましたところ、早速ご懇篤なるご祝意を頂戴いたしまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

去る十一月九日、東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて勲記勲章の伝達を

た。両祖様の絵伝です。お参りの際にご覧ください。

秋の夕べコンサート

観音堂御開帳供養の後、永松閣（庫裏二階研修道場）にご移動頂き、福島県相馬市ご出身のシンガーソングライター堀下さゆりさんをお迎えし、松源寺婦人会主催「秋の夕べコンサート」が開催された。



堀下さゆり
（ピアノ）

大築 萌
（ヴィオラ）

明珍 幸希
（チェロ）

婦人会員と永松会の方々そしてご近所の皆様にもご参加頂き盛会に終了した。

受け、引き続き皇居に参内し「春秋の間」に於いて天皇陛下に拝謁の榮を賜わり感激の極みでございました。これもひとえに貴台をはじめ、皆様との多年に亘るご指導ご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。私共も傘寿を過ぎ歳を重ねておりますが今後は、この榮誉に恥じることのないよう精進を致す所存ですので相変わらぬご鞭撻のほどをお願い申し上げます。ここに皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年十一月吉日

郷内 巖